

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 長岡福祉協会	代表者	田宮 崇	法人・ 事業所 の特徴	「住み慣れた地域で自分らしく安心して過ごせるよう生活（介護）をお手伝いします。」の理念のもと、各々がその人らしい生活が継続できるよう小規模多機能の特性を生かした支援に努めています。人に優しい町（まち）づくりの考えが、地域に根（ね）を張り、広がっていくようにとの願いを込め、月1回「まちなね」活動を開催しています。
事業所名	こぶじ園 小規模多 機能型居宅介護三和	管理者	矢代 裕美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	1人	0人	1人	1人	0人	3人	0人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域との関わりの部分で多くの改善点がある。まずは、民生委員との関わりを持ち地域の情報収集を行っていく。</li> </ul>	<p>民生委員や地域の薬剤師からも運営推進委員になってもらえ、関わりを持ち、情報収集ができた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ミーティングの時などに意見を出し合い、スタッフ全員の意見を反映している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>民生委員との関わりを継続し、地域の情報収集を行っていくと共に、事業所を認知してもらう為の情報発信を行っていく。</li> </ul>
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者、家族、地域の方が職員の顔と名前が分かるように、顔写真と名前の付いた職員紹介を作成し掲示する。</li> <li>インターホンの案内表示の改善をする。また、1階から2階への経路案内表示を作成し、1階の明るさ等に気を付け入りやすいようにする。</li> </ul>	<p>インターホンの案内表示を大きくし、玄関に顔写真と名前の付いた職員案内を掲示した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1階には職員が不在な為、インターホンやエレベーターの案内表示をもっと大きく分かりやすいものにした方が良い。</li> <li>防犯の観点から見ると、誰もが入りやすい所は危険も伴う。よく来所される方が入りやすければ良いのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>インターホンやエレベーター等の案内表示を分かりやすい物に変更し、来所した方が入りやすい様工夫する。</li> </ul>
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>民生委員との関わりを持ち、地域の情報収集を行う。</li> <li>高齢者の集まる小さなグループ（お茶会など）に利用者と参加してみて、相互の交流ができる様な関係作りから始めてみる。</li> <li>地域との関わりが持てるようにまずは、事業所を知ってもらう事から始める。その為に広報紙の見直しと配布エリアを検討する。</li> <li>広報紙を運営推進会議で配布し事業所の活動を委員の方にも知ってもらう。</li> <li>看板の検討をする</li> </ul>	<p>運営推進会議で行事や活動の様子を写真付きの資料で配布し、委員の方々には事業所を知ってもらうことができた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>三和地域住民は、近所に施設があることを知らない。興味がなく気にしていない為認知されていないのではないか。また、「サポートセンター」と書いてあるからわかりづらい。</li> <li>相談は、多くの方がまず地域包括支援センターにしている。その後、地域包括支援センターから事業者へ相談が来ることが多い。</li> <li>実際に困った時にならないと、相談しやすいかどうかはわからない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も、民生委員との関わりを持ち、継続して地域の情報収集を行っていく。</li> <li>地域の方に近所に施設があることを知ってもらう。サポートセンターの紹介を作成し、地域へ回覧板で回したり、まちなねの案内と一緒に配布して施設をしってもらう。</li> </ul>

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員、町内会長、班長などを含めた地域資源を把握する。</li> <li>・利用者が地域の中でどのような暮らしをしているのか、家族や民生委員からの情報収集を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者が地域とどのように関わっているのか、また各利用者の住む地域の町内会長や班長、民生委員の一部を把握できた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方を交えた会議は、町内会の方が来ているところもあるが少ない。</li> <li>・町内のお祭りに参加している事業所もある。左近地域もお祭りが盛んである為参加してはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ともしび祭りやサポートセンター千手の行事にも参加して行く。</li> <li>・三和・左近地域のお祭りに利用者と共に参加する。</li> <li>・民生委員から手助けを必要としている方がいないか等情報収集する。</li> </ul>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員にも運営推進委員になって頂き、地域の課題を一緒に検討していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員に運営推進委員になって頂く事ができ、地域の情報収集ができたが、事例検討や地域の取り組みの検討までは至っていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議の場で事例検討をすることは実際にはない。相談があっても介護支援専門員に直接相談している。</li> <li>・町内会活動のクリーン作戦には参加しているが、会議で地域との取り組みはない。</li> <li>・民生委員は所轄の地域内で特に介護など援助の必要な人の相談に乗ったり、行政への橋渡しする「暮らしの助っ人」だが、この方からも運営推進委員になって頂き心強く思う。地域内には、高齢で心身ともに儘ならず、介護事業所のお世話を希望される方もいると思う。民生委員からの情報収集に努め、サポートセンター三和の利用を望む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議で、地域の情報収集し、必要に応じて事例検討や地域での取り組みを検討して行く。</li> </ul>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議等で防災計画の説明し、また実際に参加して頂き意見をもらう。</li> <li>・防災訓練の案内や災害時の受け入れが可能であることの広報誌や掲示物、回覧板で情報発信を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所の防災訓練を運営推進委員にみてもらう事ができたが、地域住民の参加はなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三和・左近地域の防災訓練はない。また、宮内地区全体の防災訓練には参加できていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所の防災訓練の案内や、災害時の受け入れが可能であることを地域へ回覧板を使って情報発信していく。</li> </ul>